

背景

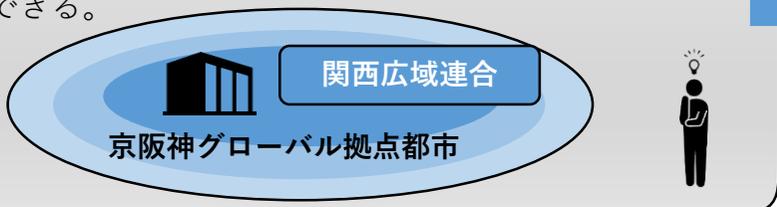
関西には、優れた大学、研究機関、企業、支援機関等が集積し、多様な分野で世界トップレベルの研究が進められるなど、世界に通じるイノベーション創出の潜在力がある。また関西は、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域として、世界の中で輝き、日本の未来を牽引することを目指している。

令和2年7月14日、京阪神スタートアップ・エコシステムコンソーシアムが、内閣府から世界と伍する拠点形成をめざす「グローバル拠点都市」として選定された。今後京阪神は、そのポテンシャルを世界に向けてPRしていくため、国の情報発信支援の強化をはじめ拠点都市への集中的な支援を最大限活用していくが、その効果を京阪神に留めず関西全域に波及させ、活用を促進していくことで、域内で活動する全てのスタートアップ、大学、研究機関にとって世界の認知度を上げるチャンスとなるほか、域外企業、投資家にとっては関西への進出動機が高まることが期待できる。

これらの活動を通して、関西全域のエコシステムとして発展させることで、関西経済の活性化、持続的な経済成長につなげることができる。

課題と期待される効果

- ▶ 関西各都市はこれまでスタートアップ支援に取り組んでおり、それぞれ独自の特徴をもった施策を展開しているが、個別に取り組んでいる状況。
- ▶ 海外エコシステム各都市とのエリア間競争を有利に戦うためには、関西全体としての発信・ブランディングが重要になる。
- ▶ オール関西としてのブランディングによって、個別には情報を届けることができない層（全国、海外の起業家、企業、投資家等）への潜在力をPRできる。



取組内容

- ▶ 関西エコシステムのポテンシャルの分析、整理、ブランディング、情報発信戦略の策定
- ▶ 関西エコシステムポータルサイトの作成（和・英文）
SNS等の活用、動画制作、電子カタログの作成
- ▶ 関西スタートアップ情報や関西エコシステムのポテンシャルについて、様々な機会（イベント等）を捉えた国内外への発信
- ▶ 関西エコシステムの魅力を世界に向けて発信するイベントの開催
- ▶ 海外エコシステムにおけるイノベーションイベントへ出展（オンライン）
- ▶ 海外メディア（Forbesなど）への売り込み



※初年度は情報発信戦略の策定、サイト・SNSチャンネル等情報発信手段の確立、コンテンツ収集・作成に注力し、直接的な取組みは世界に向けて発信するイベントの開催や出展に集中。その効果を踏まえ、次年度以降は直接的な取組みに重点を移していく。

●経費規模感

約10,000千円

- ▶ 関西エコシステムのポテンシャル分析・整理・ブランディング・情報発信戦略の策定
- ▶ 関西エコシステムポータルサイト・動画・電子カタログの作成費・各メディアへの出稿料等
- ▶ 関西エコシステムの情報発信イベントの実施・海外イノベーションイベントへの出展

等

※エコシステムのブランディング・メディア戦略を得意とする企業・機関への委託を想定。